SiteLock 操作マニュアル

~ アプリ診断 ~

目次

1. アプリ診断 (APPLICATION SCAN)	
1.1 アプリ診断とは?	
1.2 診断対象	
1.3 診断対象	
1.4 診断方法	
2. アプリ診断の事前準備	
3. アプリ診断を開始	3
4. アプリ診断の頻度を設定	3
5. アプリ診断の停止	5

1. アプリ診断 (APPLICATION SCAN)

1.1 アプリ診断とは?

WordPress 診断、アプリ&ホームページ診断は、SiteLockのアプリ診断機能を用いて行います。アプリ診断では、お客さまの Web サイト内にあるアプリケーションを対象に定期的な診断を実施し、セキュリティの脅威となる脆弱性の有無を判定いたします。ご契約プランによって、選択できる診断の実施頻度は異なります。

脆弱性が検知されたプログラム/ソフトウェア等の調査・改修は、サービス/サポート対象範囲外です。プログラム/ソフトウェア開発者、提供元またはシステム会社等に改修をご依頼ください。インターネット上で無償配布されているプログラム/ソフトウェアをご利用の場合、最新バージョンにアップデートすることで問題解決できる場合もあります。配布元サイトをご確認ください。

1.2 診断対象

アプリケーションに外部から侵入し、サーバーのセキュリティポリシーやプロトコル、PHPや Apache など現在実施中のサービスのバージョンに関する脆弱性の有無を確認します。

1.3 診断対象

診断対象のWeb サイト内にある、OS、Web サーバー、データベース、プログラミング言語よりも上位のアプリケーションを診断します。自作を含め、以下のアプリケーションにも対応しています。

- WordPress
- Movable Type
- Drupal
- Joomla!
- PHP Nuke
- DotNet Nuke
- PHP BB
- vBulletin

1.4 診断方法

SiteLockの診断サーバーは、インターネット経由で診断対象のWebサイトにアクセスします。そして、自動クロールでWebサイトの情報以集を行います。SiteLockは、約35,000件(2016年9月時点/随時更新中)の脆弱性データを格納する自社データベースと照合し、脆弱性の確認を行います。

2. アプリ診断の事前準備

アプリ診断を受ける上で正しい診断結果を得るため、事前に環境を整えてください。

事前準備のチェックリストをご確認ください。

- 1 特定の国または日本国外からのアクセスを制限していない
 - → 制限している場合、SiteLock操作マニュアルの「事前準備」を参照してアクセス制限を一部解除します
- 2 脆弱性診断を受けるWebサイトは公開されている
 - → 未公開であれば、診断前にWebサイトの公開を行います
- 3 SiteLockのドメイン認証は終わっている
 - → SiteLock操作マニュアルの「ドメイン認証の設定」を参照して、ドメイン認証を行います

3. アプリ診断を開始

ドメイン認証を終えると、アプリ診断を利用できるようになります。初回のアプリ診断は、 ドメイン認証から最大 24 時間以内に自動で実行されます。

ログイン後に表示されるダッシュボードで図1のアイコンが表示されると、アプリ診断が実行待ち(保留中)の状態であることを意味します。なお、診断開始の日時は指定できません。



図1

4. アプリ診断の頻度を設定

SiteLockでは、アプリ診断を定期的に実施できます。SiteLockのコントロールパネルにログインして、アプリ診断の診断頻度を設定できます。

STEP1 図2のメニュー「設定」をクリックします。



図2

STEP2 「スキャン設定」をクリックすると、図3が表示されます。

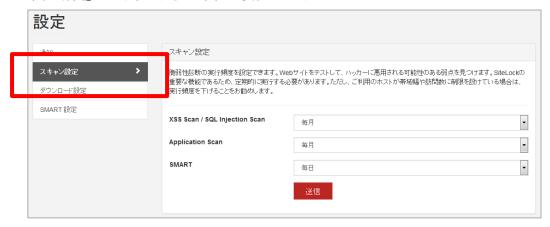


図3

STEP3 実行頻度を設定するには、[Application Scan]の右にあるプルダウンから、お望みの頻度を選びます。

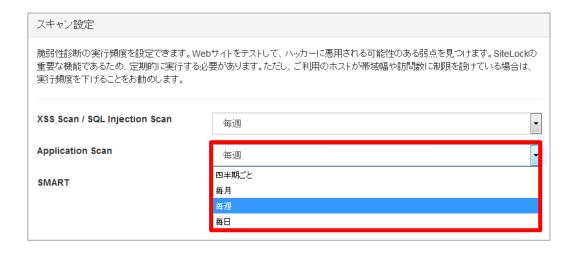


図4

選択可能な実行頻度は、ご契約プランによって異なります。また、診断の実行日時を指定することはできません。

四半期ごと	3カ月ごとに1回、診断します。	
毎月	月に1回、診断します。	
毎週	週に1回、診断します。	
毎日	日に1回、診断します。	

STEP4 選択後、[送信]ボタンをクリックします。これにて、設定終了です。

5. アプリ診断の停止

アプリ診断は、停止できません。ただし、実行頻度を「四半期」に設定することで、契約期間中の診断回数を減らすことはできます。